

地方上級<心理・福祉系>択一記述公開模試

福祉職

専門多肢試験 No.35 肢3

不備のお詫び

この度、地方上級<心理・福祉系>択一記述公開模試（KA/KB22837）の専門多肢試験の解説冊子（KU21880）において、不備がありましたので、訂正をさせていただきます。

不備がありましたのは、[No. 35] <一般心理学/イメージ操作>の問題です。

当問題は、当初、肢4を正解とすることを意図しておりましたが、肢3も正しい内容の記述となっていることが判明いたしました。

これに対し、当問題肢の解説文（KU21880, p26）では、記述内容が「誤り」であると説明しております。

「誤り」ではなく「正しい」記述であるため、肢3の解説文を以下の通り訂正いたします。

【誤った解説文】

3 × ログジェンとイメージンの説明が入れ替わっている。ログジェンとイメージンはそれぞれのシステム内で連想的構造を形成しており、さらに対応関係にある両者の間にも関連結合が存在すると考えられている。

【正しい解説文】

3 ○ 妥当な記述である。ログジェンとイメージンはそれぞれのシステム内で連想的構造を形成しており、さらに対応関係にある両者の間にも関連結合が存在すると考えられている。

【コメント】問題の肢3では「ログジェンとイメージンの説明」は入れ替わっていません。正しい記述です。

弊社といたしましては、原因を徹底的に究明し、このような事態が二度と発生することのないよう、細心の注意を払い、取組んでいく所存であります。この度の不備につきまして、受験生の皆様にご多大なご迷惑をおかけしたことを心からお詫びいたします。

以上

2022年5月

東京リーガルマインド 公務員事業本部

お問合せ：ナビダイヤル

0570-064-464（平日 9:30～20:00／土・祝 10:00～19:00／日 10:00～18:00）